

カナメ

金属製の洋風瓦刷新

人気色投入 改修需要に対応

屋根メーカーのカナメ（宇都宮市、渡部渉社長）は金属製の洋風瓦「洋瓦王（ようがおう）」を刷



新した。通常の和瓦に比べて軽く、維持管理・補修が容易な特長を生かしつつ、従来の3色に替えて黒系の2色を導入。東日本大震災をきっかけに建物への負担が少ない瓦へのふき替えや屋根補修のニーズが高まっており、幅広く対応する。洋瓦王は2004年に

発売。軽くてさびにくい「ガルバリウム鋼板」を使い、重さは和瓦の10分の1に抑えている。今回は従来の「キャメルイエロー」「ガーナブラウン」「緑青」に替えて、引き合いの多いシンプルなデザイン「ブラックパール」や「シャインブラック」を投入した。工事費込みの価格は延べ床面積100平方メートルで130万円前後を

想定している。栃木県内では発売記念キャンペーンも展開する計画。10月16日までに見積もりを依頼するか契約を終えた人を対象に抽選し、2棟限

双葉電

TD

蛍光表示管などを生産する双葉電子工業は28日、TDK子会社のTDKマイクロデバイス（茨城県北茨城市）を完全子会社化すると発表した。TDKマイクロデバイスは有機EL（エ

定で100平方メートルを無料で施工する。震災時には北関東でも住宅の瓦が落ちる被害が目立った。カナメでは震災直後の屋根改修の受注

は前年の3倍に達し、現状も1・5倍程度で推移しているという。2010年12月期の売上高は37億円。11年12月期は45億円以上を目指す。

「洋瓦王」の施工例